

令和6年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(後期日程)

小論文

(地域学部 地域学科 地域創造コース)

(注意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は4ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。  
指示があってから確認し、乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所等がある場合は、ただちに試験監督者に申し出ること。
3. 解答は解答用紙(横書き)に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙及び問題冊子の余白を利用してよい。
5. **解答用紙を持ち帰ってはならない**が、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

【問題】

次の文章は、地域課題を考えるにあたって「当事者」という言葉がもたらす問題について検討した文章の一部である。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開していません。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開して  
おりません。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開して  
おりません。

出典：小松理虔『地方を生きる』筑摩書房、2021年、169-184頁。（なお、出題にあたり文章の主旨を変えないかたちで、小見出し、本文の一部を省略し、原則として漢数字はアラビア数字に変更した。）

【問 1】

課題文における「共事者」とはどのような存在か。筆者の考えをまとめて 300 字以内で述べなさい。

【問 2】

あなたが知っている地域課題をとりあげ、その課題を解決するためにどのような活動が行われているのかを述べなさい。そのうえで、課題文の著者が指摘する「当事者」という言葉がその活動に引き起こす可能性のある問題を指摘し、また、あなたが共事者だとしたらどのようにその活動に関わることができるかを述べなさい。

(800 字以内)